

大賞 塔を彩る 来栖 旬男 様

撮影場所

大殿 瑠璃光寺

応募者のコメント

西の京やまぐちのシンボリックな建物「五重塔」と陸自駐屯地から上げた花火のコラボレーションである。花火は少し山かげになるが古都山口盆地ではめずらしい光景である。

景観審議会のコメント

ほのかにライトアップされた五重塔の後ろに花咲く色鮮やかな陸上自衛隊山口駐屯地の花火。このような視点場があることをどれだけの方が知っていたでしょうか。古都らしい歴史を湛えた落ち着きと現在の夏祭りの活気が伝わる、私たちの「やまぐちの夏」を代表する写真として是非多くの方々に「見せたい」一枚です。



入賞 ちょうちんとサビエル記念聖堂 田中 裕美子 様

撮影場所

白石 米屋町

応募者のコメント

家族でちょうちんまつりに出かけたときの写真です。山口の夏といえばちょうちん祭りと思います。ちょうちんとサビエル記念聖堂の対比が非常に印象的でした。

景観審議会のコメント

普段は車道ですが、駅通りからサビエル記念聖堂がこんなにはっきりと見えます。山口の夏を代表するちょうちんと祭りのまちの賑わい、山口の季節とシンボルをふんだんに盛り込んだ素晴らしい景観を見せていただいた一枚です。



入賞 竹取物語 重村 哲雄 様



撮影場所

大殿 一の坂川

応募者のコメント

アートフルリバーナイトの風景を、暗くなる前に撮影した画像です。空の明かりが残っている間に、橋の上から見学中のカップルをぼかして入れました。

景観審議会のコメント

暦の上での夏が終わっても夏の名残の残暑が厳しい9月上旬、終わり行く夏を惜しむ送り火のような幽玄さを映し出します。まるで初夏の蛍との対比となるような、四季の豊かな一の坂川の一つの表情を捉えたアートフルリバーナイトでの一枚です。

入賞 伝統芸能 山下 京寛 様



撮影場所

大殿 八坂神社

応募者のコメント

夏の始まりは山口祇園祭。室町時代から続く夏の疫病除けを祈願する県指定無形民族文化財「鷺の舞」の一コマ。厳かな笛や太鼓、鉦（かね）の拍子に合わせて広げる羽は優雅である。

景観審議会のコメント

山口の夏を代表する「山口祇園祭」。「鷺の舞」は大内氏の栄華と共に、山口の歴史の重さを現在に感じさせる伝統芸能です。ぜひ、古都山口の魅力の一つとして、多くの方に伝えたい一枚です。

入賞 梅雨の合間の入道雲 牧 徹 様

撮影場所

秋穂 黒湯

応募者のコメント

梅雨の合間に見事な入道雲が立ちましたので、山口型放牧の牛を入れて撮ってみました。

景観審議会のコメント

じめじめした梅雨が終わり、夏の始まりを感じさせる入道雲。草々の若々しい緑、山の深い緑、爽やかな青空が相俟って、これから訪れる夏を予感させる、山口の田園風景らしい爽やかな一枚です。



入賞 アジサイの風景

上田 強 様



撮影場所

仁保 中郷

応募者のコメント

青いアジサイが綺麗に咲いていました。水田の向こうには、KDDIのパラボナアンテナが見えます。仁保らしい初夏の風景だと思い、写真をとっておきました。

景観審議会のコメント

鉄塔やアンテナ等の設備機器は景観阻害要因と捉えられがちですが、KDDIのパラボラアンテナは一味違います。手前のアジサイの丸み、田園集落、パラボラアンテナ、山の稜線と自然と人工が調和した、山口固有の景観を捉えた一枚です。

入賞 石垣棚田は緑の帯 長井 英子 様



撮影場所

徳地 三谷

応募者のコメント

一千年前もの時を経て築かれたと聞く三谷石垣棚田。7月中旬頃、稲は青々と成長し、長い石垣と重なり緑の帯の線は目に眩しく美しい。里山の人々が永きに渡り守り継げた愛着のこの地を次世代へ伝える。

景観審議会のコメント

徳地三谷地区の棚田。奈良時代から明治までの一千年間築石され、大小合わせて1,000枚におよぶといわれています。遠い過去から現在まで受け継がれる地域の人々の想い、石垣に写真をクローズアップすることで、その重さまでも伝わってくる一枚です。